











フレスノ  
〔十日〕

## 白レーズン

来事報文  
〔九月二十二日〕

〔十一日〕

日本改造  
〔九月二十二日〕

決定したる

〔十一日〕

ロスアンセルス

〔十一日〕

イエス

〔十一日〕

テニス

別段の会議の席上に於て湯浅氏は自らの口から語ったことは昭和の通りであるが、出でたところは「ほんとうにほんとうに」である。元は、小島、谷本、大内、山田の各氏は、「おお、おお、おお」とうなずき、喜んでいたが、しかし、その間に、伊藤田（サンデード）が、「アーヴィング・サンダーラー」を挙げた。その間、伊藤田は、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。

会議は、いよいよ終盤に入り、日本改造は、これで終了した。その後、伊藤田は、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。その後、伊藤田は、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。

伊藤田は、このまま、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。その後、伊藤田は、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。

伊藤田は、このまま、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。その後、伊藤田は、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。

伊藤田は、このまま、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。その後、伊藤田は、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。

伊藤田は、このまま、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。その後、伊藤田は、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。

伊藤田は、このまま、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。その後、伊藤田は、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。

伊藤田は、このまま、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。その後、伊藤田は、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。

伊藤田は、このまま、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。その後、伊藤田は、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。

伊藤田は、このまま、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。その後、伊藤田は、机に向かって座り、手を離さず、常に右の手で、左の手で、頭を搔いていた。



